

21世紀を担う調和のとれた人間教育

SDGs 達成のために私たちができること

●講師 大井秀俊(キリンビバレッジ株式会社)・海田健太郎(公益財団法人 CIESF)



●講演内容

① SDGs とは持続可能な開発目標のことであり、各個人や各国や地域が意識するだけでなく、「誰一人取り残さない」ように目標達成することがとても重要です。キリングroupさんでは、CSV（共通価値の創造）という考えで取り組まれています。キリングroupさんでは午後の紅茶の原料の茶葉を育てるスリランカ農園に、トレーニング等として支援しています。支援をし、持続可能な農園であることを証明するとレインフォレスト・アライアンス認証が付き、農園と企業は共にメリットがあります。キリングroupさんは働く大人と子供の未来を守り、紅茶をより美味しく提供するために、日々試行錯誤しています。



② CIESF は主にカンボジアで活動しています。日本とカンボジアは非常に友好的な関係を築いています。日本は教育制度が十分でないカンボジアに「国境なき教師団」を送っています。「国境なき教師団」は地球益の考えを広め行動する「人」を育てるという理念のもとで活動しています。1900年代後半カンボジアはポル・ポト政権に支配されていました。ポル・ポト政権の独裁政権による原始共産主義のもと国内外のカンボジア人約200万人が虐殺されました。対象となったのは知識人であり、教師もその対象でした。校舎は破壊され教育ができない環境でした。今でも教育制度が万全には整っていません。また、現在世界の未就学児童は1億4000万人以上で学校に行けない理由としてはそもそも学校が無い、教師不在、経済的困窮という理由が多いです。学校に行けないため文字が読めず、低賃金の仕事にしか就けなくなり、経済的不安を補うため自分の子供にも仕事をしてもらい、そうするとその子供も学校に行けなくなる。と負の連鎖が続いてしまいます。そんな子供のために CIESF は活動しています。そして今学校に通えている私たちにできることは学び続けることです。学び続けることで心が豊かになり将来の選択肢が増えます。

講演感想文

・私は今回の講演で、SDGs についてさらに詳しく知ることができました。カンボジアと日本の関係について詳しく知ることができ、また、学校に通えていない人が1億4000万人もいるという話を聞いてとても驚きました。SDGs について今後も継続的に学ぶことがとても大切だということを知ることができました。

・今回の講演では SDGs への企業の取り組みを学ぶことが出来ました。レインフォレストマークという初めて聞いたマークが、森林保護などへの取り組みへの評価を受けているものということを知りました。また、自分の国ではない人々の為に活動することへの凄さや尊敬を改めて感じました。そして、今の私たちが SDGs についてできることは「学び続けること」であり、理解を深めて、少しずつできることを増やしていきたいと思いました。

・キリングroupさんをはじめとしたいろいろな企業が世界中に支援していることがわかりました。CSV や農園トレーニングで現地の人々を助けていることを知ることができました。CIESF では世界中に教育を受けられない人が想像以上に多くいると聞いて、今、自分が学ぶことができていることはとても恵まれている状態だと改めて思いました。

(作成：一貫部高校1年 生活委員)